

沖縄米軍 100人規模感染

基地従業員がオミクロン株

沖縄県は17日、米海兵隊

う。

基地「キャンプ・ハンセン」（金武町など）の基地従業員で、うるま市に住む50代の日本人男性が新型コロナウイルスの変異株オミ

クロン株に感染したと発表した。また、米本国から同基地に派遣された米兵らに100人規模のクラスター（感染者集団）が発生。県は基地従業員の感染とクラスターは関わりがあるとみて追跡調査している。

米軍から県には17日、70人の感染報告があった。前日、前々日にも報告があり感染者は計99人。いずれも部隊配置計画で、米本国から沖縄の嘉手納基地に直接入国した。米軍は「隊員は行動制限下におかれ、基地外の地域住民との接触は一切ない」「陽性者は隔離下にある」と説明したという。オミクロン株感染について、感染した基地従業員の職場は米軍の隔離施設とは直接関係がなく、クラスターとの接続的な関係は調査中という。県は17日、米軍に対し感染者のゲノム解析を要請した。県によると、米軍からは、基地内にゲノム解析の機器がなく必要が

でした。また、米本国から同基地に派遣された米兵らに100人規模のクラスター（感染者集団）が発生。県は基地従業員の感染とクラスターは関わりがあるとみて追跡調査している。

県によると、県内でオミクロン株の感染が確認されたのは初めて。濃厚接触者は少なくとも家族や同僚10人。また、50代女性と、その接觸者の60代男性もオミクロン株の可能性があるとして、ゲノム解析中とい

あれば本国で検査する、との説明があった。県は、日本側でのゲノム解析を申し入れたが、個人情報保護などを理由に断られたとい

う。（光澤桂吾）

群馬でも52人

群馬県は17日、新たに52人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。この日、感染が確認された都道府県で最も多かった。

群馬県によると、県内では11月19日以降、桐生市と太田市に工場がある会社でクラスター（感染者集団）が発生している。感染者52人のうち30人はこのクラスターに関連したもので、この会社での感染者は計48人となつた。